

◆大人の自然観察会
~湿地のまわりの動植物~

さまざまな動植物が見られるみどり森で、大人向けの自然観察会を行います。自然界の営みを再発見！
日時：10月13日(月・祝) 9:30~12:00
対象：中学生以上 定員：20名
参加費：100円
要申込：受付中！

◆麦を育ててうどんを打とう！

地域の郷土作物である「麦」を種まきから育て、そして収穫した麦を小麦粉にする過程を体験する全6回の食育体験教室。うどんを作って食べましょう！
日時：10月25日、12月6日、1月10日(土)他3回 10:00~15:00
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加) 定員：20名
参加費：4,500円
要申込：受付中！

◆緑の森フェスタ

みどり森周辺の自然をテーマにした写真や絵画などの作品展、森のクイズラリーなどを開催。土日には市民の方による演奏会や、野菜等の販売もあります。
日時：11月11日(火)~16日(日)
参加費：無料、一部有料イベントあり

◆県民の日イベント・森の隠れ家づくり

落ち葉舞うみどり森で、雑木林の管理作業でた材をつかって、森の隠れ家づくりに挑戦してみましょう！
日時：11月14日(金) 10:00~12:00
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加) 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：10月14日から受付を開始します。

◆幼児とパパママで楽しむ自然あそび

幼児と保護者を対象にした短時間プログラムです。落ち葉いっぱいの森で親子で楽しく遊びましょう。
日時：12月7日(日) 10:00~12:00
対象：4~6歳の未就学児と保護者 定員：20名
参加費：100円(保険代)
要申込：11月7日から受付を開始します。

◆里山体験教室(全3回)

昔から行われてきた、里山の雑木林の管理を体験します。下草刈り・落ち葉掃き・伐採・シイタケの櫛木づくりなどを予定しています。
日時：12月14日、1月18日、2月15日(日) 10:00~12:30
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加) 定員：20名
参加費：1,500円(保険代、材料代)
要申込：11月1日から受付を開始します。

◆里山文化講座「お正月飾りをつくろう」

昔からのお正月準備のひとつ「しめ縄飾り」を作りながら由来等も楽しく学べるイベントです。新年を手作りのしめ縄飾りで迎えてみませんか？
日時：12月21日(日) 10:00~12:30
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加) 定員：20名
参加費：500円(保険代、材料代)
要申込：11月21日から受付を開始します。

★イベントのお問合わせ・申し込み★

電話(TEL 04-2934-4396)で博物館までご連絡ください。また、公式ホームページからお申し込みできます。イベント内容等の詳細は、お気軽にお問合せください。みなさんの申込みをお待ちしております！

「みどり森週末ガイドウォーク」実施中！

左記イベントの他、第2土曜日と第4日曜日に当日募集型のガイドウォークを実施中(定員は各回15名、年齢制限はありません)。案内所や大谷戸湿地周辺をスタッフがご案内します。内容は毎回変わりますので、どんなテーマか？当日までお楽しみに！
10~12月までのガイドウォーク実施日(予定)：
10月11日(土)、11月8日(土)、11月23日(日)、12月13日(土)、12月28日(日)
時間：13:00~14:00(土曜日) 11:00~12:00(日曜日) 参加費：無料(全ての日程で共通) / 当日案内所にて受付

博物館からのお知らせ

◆緑の森博物館の利用ルール◆

- 緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。
1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
7) ゴミは持ち帰りましょう。

◆アクセス◆

- ★公共交通機関をご利用の場合★
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」または「金子駅入口」行き乗車、約25分「荻原バス停」下車、徒歩約10分

★案内所までの地図★
右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)



★ご来館時のお願い★
駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。特に緑の森フェスタ期間は、公共交通機関をご利用をお願いします。

開館時間 9:00~17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
【公式HP】http://saitama-midorinomori.jp/
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

発行：さいたま緑の森博物館
発行年月：2014年10月
住所：〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX：04-2934-4396

暑い夏が終わり、これから季節は、秋そして冬へと移りかわっていきます。森は冬を迎えるために秋になると、雑木林の木々たちは夏にお世話になった葉を体から切り離し、水分の蒸発を防ぎ、無駄なエネルギーを使わ無いようにして寒い冬を乗り切ります。この時、水分やエネルギーのやり取りがなくなった葉は、黄色や赤い色に変わり、やがて木から離れていきます。その木から離れるわずかな期間、森はいつもと違う顔を見せて人々を楽しませてくれるのです。今回の特集は、秋のみどり森で見ることのできる『紅葉』です。



秋の夕日に
照る山紅葉♪~

みどり森 里山広辞苑

緑の森博物館のテーマである雑木林や湿地などについて、毎号キーワードを挙げて紹介しています。今回は、雑木林の木を切る『伐採』と、切り株から木を育てる『萌芽更新』です。

その9 伐採
(ばっさい)

冬の里山では、雑木林の管理(落ち葉はきや柴刈り)以外に、管理した雑木林の木々を十五年〜二十年周期で切り倒し、枝葉は柴として日常生活における燃料として、幹の部分は販売用の薪や炭、シイタケのほだ木として利用していました。

みどり森では...

埼玉県の計画のもと、敷地内の一定面積を伐採しています。また博物館主催のイベントにおいても雑木林の管理を体験する「里山体験教室」において雑木の伐採を行っています。伐採した木はシイタケの「ほだ木」にしています。

その10 萌芽更新
(ほうがこうしん)

雑木林の木は伐採されると、翌年の春に切株から芽が出てきます。これを萌芽と言います。この萌芽した芽は、ドングリから育てるよりも数倍早く成長します。

このように、萌芽した芽を育てる雑木林の管理の方法を萌芽更新と言います。

みどり森では...

伐採を行った雑木林を萌芽更新させるように努力していますが、樹齢が40年を超える木が多いため、伐採しても萌芽しない木が多くなっています。本来の里山の環境を保つためには、継続的な管理作業が欠かせません。

※「ほうがこ」とは「ほうがこ」とも言います。

みどり森で楽しむ紅葉

みどり森では、例年だと11月中旬から12月上旬にかけて紅葉が楽しめます。
黄色っぽく色の変わるコナラの木が多いみどり森ですが、
その中でも紅葉、黄葉の美しい植物やスポットなどをご紹介します。
紅葉の情報等は、案内所のスタッフにお気軽にお問い合わせ下さい。

葉はぬり絵に使ってね!
案内所で色鉛筆を貸し出しています。

果実の形が面白い
ヤマノイモ・オニドコロ
色：黄

早い紅葉
ヤマザクラ
色：黄～オレンジ

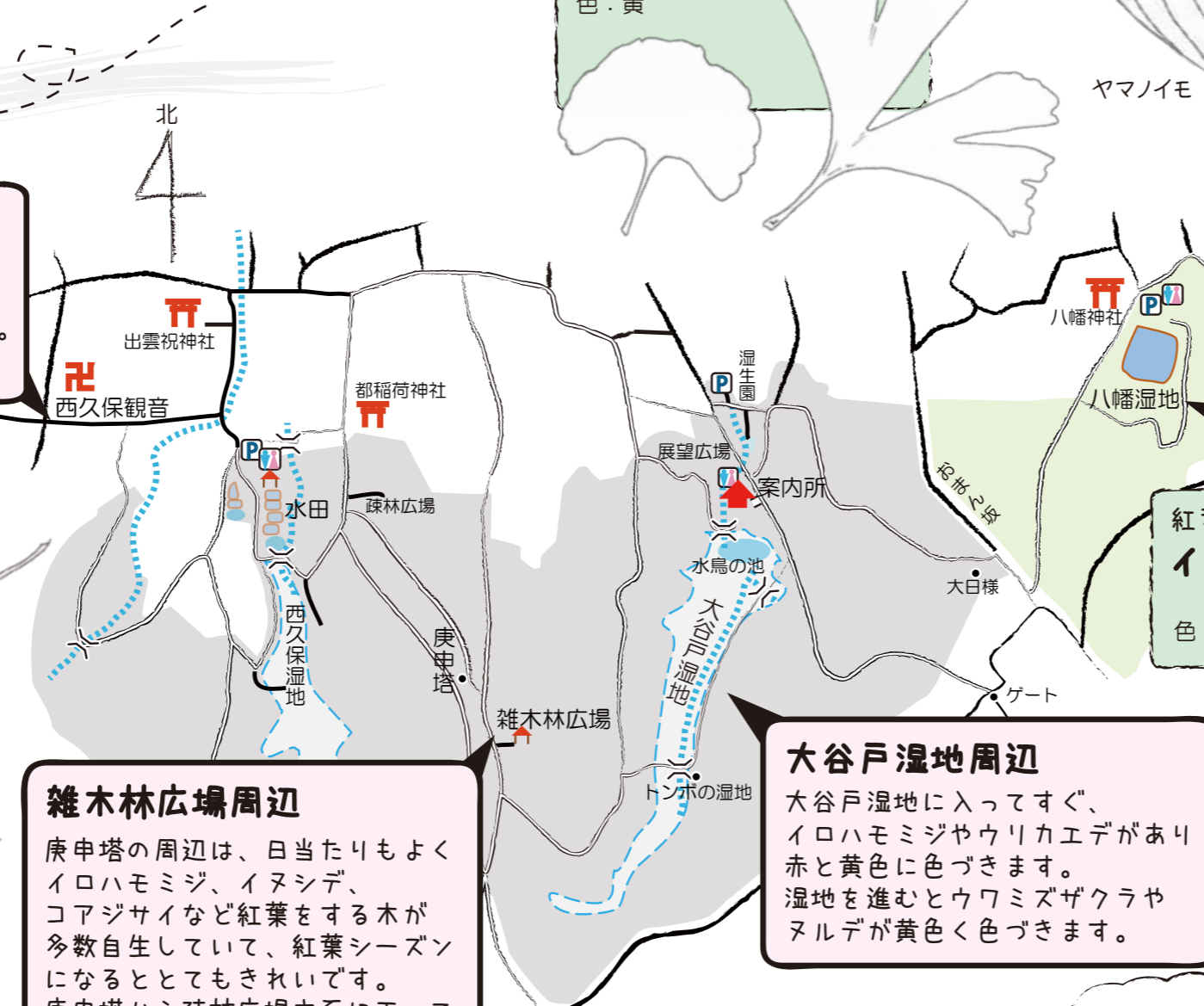
神社の境内には大きな木が
イチョウ
色：黄

透き通るような黄色
ウリカエデ
色：黄

西久保周辺

西久保観音には、イチョウやカエデの仲間が生えているので、
ここでも紅葉を楽しむことができます。
立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

樹皮が独特な
リョウブ
色：黄



八幡湿地周辺

湿地周辺の雑木林では、
イロハモミジが色づきます。
八幡神社の境内には、
イロハモミジとイチョウが
あり、紅葉の季節にはとても
鮮やかになります。

紅葉の定番
イロハモミジ
色：黄～赤

足元でも紅葉
ゲンノショウコ
色：赤

雑木林広場周辺

庚申塔の周辺は、日当たりもよく
イロハモミジ、イヌシデ、
コアジサイなど紅葉をする木が
多数自生していて、紅葉シーズン
になるととてもきれいです。
庚申塔から疎林広場方面に下って
行くとリョウブの林があり、
そこは黄色に色づきます。

新芽は赤、紅葉は黄色
アカメガシワ
色：黄

大谷戸湿地周辺

大谷戸湿地に入るとすぐ、
イロハモミジやウリカエデがあり
赤と黄色に色づきます。
湿地を進むとウワミズザクラや
ヌルデが黄色く色づきます。

下から順々に紅葉する
ツタ (別名ナツツタ)
色：赤

きれいな葉にはご用心!?

人によっては注意が必要!? 紅葉を楽しむときの注意事項

ウルシ科の植物でヤマウルシとヌルデ、ハゼノキは人によっては、
かぶれてしまう恐れがあります。
特にヤマウルシとハゼノキは鮮やかな赤に紅葉するので、つい手にと
ってしまいたくなりますのでご注意ください。
また、ごくまれに、ヤマノイモ、オニドコロ、イチョウの葉でも
かぶれてしまう人もいますので、ご注意下さい。

鮮やかなグラデーション
イヌシデ
色：黄～赤

ひざ下の黄色
コアジサイ
色：黄

葉の表がすべすべ
ウワミズザクラ
色：黄

参考文献: 原寸イラストによる 落葉図鑑 吉山 寛・石川美枝子 (1992)
山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花 川崎吉光 (1989)
山溪ハンディ図鑑3 木に咲く花 離弁花1 川崎吉光 (2000)
山溪ハンディ図鑑4 木に咲く花 離弁花2 川崎吉光 (2000)
山溪ハンディ図鑑5 木に咲く花 合弁花・単子葉・裸子植物 川崎吉光 (2001)

※成長度合いや、部分ごとで葉の形が変わります。